

第16回ひょうご女性未来・縹（はなだ）賞受賞者一覧

氏名・名称	受賞理由
<p>かじもと みわ 梶本 美和</p> <p>森と仲間になろう プロジェクト</p> <p>(35歳)</p> <p>宍粟市</p> 	<p>東京と姫路で本業の花屋の休業後、宍粟にUターン。人口減少が進む街に新たな息吹をもたらそうと平成27年11月に仲間たちと「森と仲間になろうプロジェクト」を立ち上げた。</p> <p>住んで楽しいまちづくりをめざし、手づくり木工品や雑貨等を販売する「森のてづくり市」、エコに配慮した古本交換会、「こどもふるしき市」の開催など参加型の仕掛けを施した数々のイベント企画に携わっている。</p> <p>家業のお花屋さんを営みながら、次世代育成や地域活動に取り組む梶本さんの姿から勇気もらい「森のてづくり市」を機に実際に開業する若者も出てきている。</p> <p>仲間と共に活動を継続することで、子育て世代や若者層にも地域への思いが広がっており、これからの活躍もますます期待される。</p>
<p>淡路市消防団女性隊 しずかファイヤーズ</p> <p>淡路市</p> 	<p>淡路市消防団に属する女性消防団で、淡路市市政10周年の平成27年4月に発足、市民が親しみを感じるよう、愛称を「しずかファイヤーズ」とした。</p> <p>女性ならではのきめ細やかな視点を活かした広報活動、火災予防活動、防災・防火教室、消防団訓練等へ積極的に取り組んでいる。</p> <p>発足時の隊員数は26名で、女性消防団員入団員数全国ベスト5に入り、総務大臣感謝状を授与された。現在の隊員数は34名で、今後さらに増えることも予想されている。</p> <p>消防団組織の活性化と市民の安全・安心を確保するため、阪神・淡路大震災の経験と教訓を活かし、災害に対する啓発活動に女性の立場からの視点で気配りのある対応に能力を効果的に発揮しており、今後の活躍がますます期待される。</p>
<p>ウィンあかし WIN明石</p> <p>キャタピラージャパン 合同会社 明石事業所 明石市</p> 	<p>平成26年2月にキャタピラージャパン合同会社明石事業所内の女性社員有志が「自分らしく活躍する！」を考えるネットワークとして立ち上げた。グローバルな視点と社会貢献という角度から女性が活躍できる社会を目指し、様々な活動を続け、若手人材が育っている。活動を通じて、男性社員や海外の女性社員、リーダーとも交流し、仲間を増やしている。</p> <p>また、社外とのネットワークづくりでは、地域の学校と連携した活動や未来の女性エンジニアを育てるためのSTEM(科学技術人材育成)活動の「リコチャレイベント」など次世代育成にも力を注いでいる。</p> <p>自然体で楽しんで地域に根ざした女性活躍推進の活動に取り組むWIN明石は、兵庫から世界へはばたく先駆的存在として一層の活躍が期待される。</p>

* 敬称略、個人、団体の50音順